
第12回

「いのちのつながり」 小作文作品集

令和4年度



主催：小笠原モラロジー事務所

後援：牧之原市・牧之原市教育委員会

公益財団法人モラロジー道德教育財団

「命のつながり」小作文

表彰式

令和5年3月12日（日）

10:00～11:30

牧之原市相良総合センター

「いーら」

《式次第》

開 会

主催者あいさつ

小笠榛原モラロジー事務所
代表世話人 前田 恭典

来賓あいさつ

牧之原市長 杉本 基久雄 様
牧之原市教育長 橋本 勝 様

審査報告 選考委員長

元牧之原小学校校長 植田 伸子 様

表 彰

表彰作品朗読

優秀賞受賞者 3名、特選受賞者 3名

講 話

公益財団法人モラロジー道德教育財団南関東ブロック
教育相談員 石川 欽一

閉 会



目次

目次	1
募集経過	2
主催者あいさつ	3
審査報告	4
審査結果	5
受賞作品		
優秀賞	6
特選	7
入選（5年生）	9
入選（6年生）	12
応募者名	16
応募者数	20



第12回「いのちのつながり」小作文募集要領・日程・経過

作文テーマ	親・いのち・感謝・思いやり・家族等
作文募集範囲	牧之原市立小学校9校
作文募集対象	5・6年生
募集開始	令和4年10月20日（木）
募集締め切り	令和4年11月21日（月）
応募総数	両学年合わせて520編
作品選考員	小笠榛原モラロジー事務所担当者7名（1次・2次選考）
最終選考員	審査委員長 元牧之原小学校校長 植田伸子先生
作品選考	
1次選考	令和4年12月12日（月）240編選出
2次選考	令和4年12月19日（月）76編選出
最終選考	令和5年1月
各賞内訳	優秀賞3編（市長賞、教育長賞、モラロジー道德教育財団賞） 特選3編（静岡県モラロジー協議会長賞） 入選20編（5年生10編、6年生10編） 佳作（上記26編以外の最終選考作品50編）
賞品	優秀賞・特選・入選の方には賞状と副賞をお贈りします。 佳作の方は審査結果にお名前の掲載をさせていただきます。
表彰式	3月12日（日） 10時～11時30分 牧之原市相良総合センター い〜ら 福祉団体活動室

主催者挨拶

小笠榛原モラロジー事務所
代表世話人 前田 恭典

小笠榛原モラロジー事務所主催の「いのちのつながり」小作文コンクールは、平成 21 年度にスタートしまして、今回で 12 回目を迎えることが出来ました。

本年も、牧之原市内小学校 5, 6 年生に応募を呼び掛けたところ、520 編もの小作文が寄せられ、応募をいただいた小学生の皆様、各学校の校長先生、担任も先生方には厚く御礼申し上げます。

児童から寄せられました小作文を読ませていただき感じたことは、どの子供たちも、家族や友達に対する純粋な感謝が述べられていて、どんなに時代が変わっても、家族ほど温かく、甘えることが出来て、家庭ほどホッと出来る場所はないということ、文面から理解でき、何とも言えない安心感が漂いました。

このコンクールの目的は、ただ児童に作文を書いてもらって、文章力や語彙力を競うのではなく、日ごろ当たり前のように接している、家族や家庭について改めて考え、自分を支えてくれている存在に気づくことによって、自分と他者のいのちを大切にしようという心と、自己肯定感が高まり、これからの人生の歩みを力強く、思いやりの心を持って生きていって欲しいとの願いがあります。と同時に、子供たちを支える我々大人も、明るい温かな家庭の存在が、より良い地域社会を築く上での重要な基盤になることを再認識できる機会になれば幸いに存じます。

最後になりましたが、ご後援をいただきました牧之原市教育委員会様、関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

審査報告

選考委員長

元牧之原小学校校長

植田伸子先生

小笠原モラロジー事務所主催の「いのちのつながり」小作文コンクールも第12回を迎えることになりました。牧之原市内小学校5、6年生の皆様から520点の応募がありました。一人一人の作品を丁寧に読ませていただき、第一次選考、第二次選考、最終選考を経て、本日の表彰式に至りました。

この小作文コンクールは、作文力の向上を願うものではなく、小学5、6年生という思春期を迎える子供たちに「いのちのつながり」について、考える機会を与えることで、生きる喜びを高め、それをよりよい家庭や地域社会を築いていく原動力にして欲しい、という願いが込められています。ですので、審査にあたり、文章の技巧的な部分以上に「自分事として課題を捉えているか」「相手を意識した説得力のある豊かな表現であるか」に重きをおいて審査いたしました。

「作文に表す」という行為は、ごちゃごちゃしている頭の中を整理したり、ぼんやりとしたイメージを形あるものにすることができます。今回この小作文を書くにあたり、子供たちは、情報や事象を集めたり、調べたりしてそれらを整理して自分で「いのちのつながりって何?」「私は、誰に感謝したいのかなあ?」「家族ってどうして大切なの?」等を考えたと思います。その「自分で考え、考えたことを文字で表した行為」が尊いのです。授賞された方々の作品は、「考えたこと」が、ぐいぐいと迫ってくる作品ばかりでした。

是非、その考えたことを周りの人たちに発信して欲しいと思います。特に友達です。それがまた、新しい「いのちのつながり」を生み出していくと思います。

最後になりましたが、本事業に御賛同いただいた各小学校の校長先生、そして、子供たちの作文を指導して下さった担当・担任の先生方に心よりお礼申し上げます。

第12回牧之原市立小学校『いのちのつながり』小作文

コンクール審査結果

優秀賞

牧之原市長賞	ともだ はると 友田 遥斗	相良小5年2組 「いのち」
牧之原市教育長賞	むらまつ さきわ 村松 咲和	勝間田小6年1組 「いのち」
モラロジー道德教育財団賞	たひら ひな 田平 陽菜	菅山小5年1組 「家 族」

特 選

静岡県モラロジー協議会長賞	くろだ まな 黒田 茉奈	萩間小5年1組 「一生大切な家族」
静岡県モラロジー協議会長賞	おおいし さくら 大石 さくら	萩間小6年1組 「命の大切さ」
静岡県モラロジー協議会長賞	もとすぎ おうすけ 本杉 旺奨	地頭方小5年1組 「家 族」

入 選

※順不同

5年生

えんどう さな 遠藤 紗和	菅山	「いのち」
そね こうき 曾根 鳳生	地頭方	「親と感謝」
さとう ありさ 佐藤 ありさ	地頭方	「いのち」
ながた あおい 永田 蒼	牧之原	「感 謝」
まつした さち 松下 紗智	川崎	「お母さんとお父さん」
しばさき さとや 柴崎 聡治	川崎	「ぼくのおじいちゃん」
ロドリゴ ケイトリン	細江	「5年間離れていた お父さんお母さんへ」
おだぎり みき 小田桐 美揮	細江	「かんしゃのきもち」
さくらい りさ 櫻井 里咲	勝間田	「いのち」
岡村 健太郎	勝間田	「家 族」

6年生

はせがわ あすむ 長谷川 空澄	菅山	「おばあちゃんと犬」
おおさわ かほ 大澤 香保	菅山	「いのち」
なかじま こゆり 中嶋 胡百合	萩間	「家 族」
なわまき ゆな 縄巻 柚奈	牧之原	「家 族」
にしざわ いお 西澤 寿修	川崎	「人とのつながり」
よしぞえ ひな 吉添 日彩	細江	「いのち」
しんぼ しゅうま 榛葉 脩真	細江	「おばあちゃんへの感謝」
いいだ ゆいと 飯田 結人	細江	「家 族」
さくらい のこ 櫻井 暖心	勝間田	「いのち」
すずき ことね 鈴木 琴音	坂部	「私のお母さん」

佳 作

※順不同

5年生

紅林 奈々	相良	松下 心奏	牧之原
松下 結朱	相良	塩崎 蓮菜	牧之原
青山 千代	相良	八木 心	川崎
藤野 愛理	相良	北川 唯人	川崎
森田 有空	相良	中川 和々葉	川崎
長谷川 にこ	相良	伊藤 玄翔	川崎
中川 心耀	菅山	池田 怜未	細江
鈴掛 絢菜	萩間	宮田 颯人	細江
源間 彩虹	萩間	長野 壮馬	細江
池田 創偉	地頭方	藤林 ラディカ	細江
植田 絢音	地頭方	川瀬 大希	細江
中西 泰雅	牧之原	大石 彩華	細江
吉田 悠真	牧之原	山下 雛	勝間田
吉國 友埜	牧之原	舛谷 野乃佳	勝間田

6年生

佐藤 優姫奈	菅山	カーマン まいわ	細江
西川 類菜	菅山	浅賀 彩音	細江
長野 咲空	萩間	櫻井 ひより	細江
小塚 彩瑚	地頭方	櫻井 綾心	勝間田
原口 壮史	地頭方	鈴木 琴音	勝間田
増田 美希	地頭方	小原 大河	坂部
松村 桃子	地頭方	神崎 芽衣	坂部
黒田 彩花	牧之原	吉添 太慳	坂部
三浦 咲人	牧之原		
袴田 紗彩	牧之原		
小野田 奈南	川崎		
田邊 璃帆	細江		
鈴木 ひかり	細江		
岸本 未夢	細江		

優秀賞 牧之原市長賞

いのち

相良小学校 5年2組
ともだ はると
友田 遥斗

命は大切に、お金では買えないです。
命は自分の体に一つだけしかありません。
一度きりの人生で、ぼくは、命が一番大切です。
家族から受けつがれた生命です。
ぼくは、命があつてとてもうれしいです。
命がないと動けないので大切です。
この命を大切に生きていきます。

優秀賞 牧之原市教育長賞

いのち

勝間田小学校 6年1組
むらまつ さきわ
村松 咲和

私の家は畜産農家で肉牛を飼っています。
その牛一頭一頭にも私たち人間と同じように命があります。
どんな命だって代えられるものはない、大切なものです。
でも、その命をいただかないと生きていくことはできません。
だから、私一人の命だとしても、本当はたくさんの命に
支えられている、私だけのものではないと思います。
そんなかけがえのない命を、遠い過去からずっとつない
できてくれたように、遠い未来へ命をつないでいきたいで
す。

優秀賞 モラロジー道徳教育財団賞

家 族

菅山小学校 5年1組

たひら ひな
田平 陽菜

わたしは、毎日とっても楽しく、しあわせです。

なぜだろうと考えると、一番さいしょに家族のみんなが頭の中に出てきます。

ずっといっしょにいてくれる、お父さんとお母さん、いつもやさしいおじいちゃんとおばあちゃん、いつもたくさん遊んでくれる妹と弟。

みんなのことを考えると、生きているすばらしさを感じられます。ずっといっしょにいたいです。

もう一つ頭の中に出てくることがあります。それは、命がつながっているから今の家族があるということです。命がつながっていなかったら、今の家族ではないと考えると、命のつながりのありがたさが分かります。

これからも、わたしのしあわせが、つづきますように。

特 選 静岡県モラロジー協議会長賞

一生大切な家族

萩間小学校 5年1組

くろだ まな
黒田 茉奈

私の絶対に一生変わらない大切なものは、家族です。

私が、今この小作文を書いているのも、家族のおかげです。

私のことを一生けんめい育ててくれた家族。私の名前にだって、たくさん時間をかけて考えてくれたと知っています。意味だって、たくさんあります。

ばーばも、じーじも、み～んなで私のことを大切にしてくれて、かわいがってくれて、かげで支えてくれているのを知っています。みんなみんな、優しいです。こんなに幸せな家族、他にありますか？

私と血がつながっている全員、一生の宝物です。絶対に変わりません。

私も大きくなったら、こんな幸せな家族を作りたいです。

特 選 静岡県モラロジー協議会長賞

命の大切さ

萩間小学校 6年1組

おおいし
大石 さくら

わたしは、小さい頃そんなに命について考えてことがありませんでした。でも、学年が上がって行って、災害など、命について学びました。

最近では地震や事故で命を失う人が多いです。病気で急に亡くなってしまうこともあります。

そんななかで今、私が生きていることはすごいと感じます。いつ何があるかわからないので、生きていることが当たり前ではないとわかりました。

私には、90歳を少し超えた、ひいおばあちゃんがいます。必ずみんな長生きできるわけではありません。そう考えると、こんなに長く生きているのはすてきだと思います。

これからも、元気で健康でいてほしいです。

特 選 静岡県モラロジー協議会長賞

家 族

地頭方小学校 5年1組

もとすぎ おうすけ
本杉 旺奨

ぼくの家族は、自分を入れて、4人います。

いつも仕事をがんばっている、お母さん。家事をいつもやってくれているおばあちゃん。中学校をがんばっているお兄ちゃん。そして、自分。

ぼくは、この三人は、いつもやさしくしてくれて、いつも、ぼくに笑顔をくれる家族です。

ぼくの自まんの家族です。ぼくは、この家族のもとに産まれてきたことを誇りに思い、どんなうれしいことよりも、なによりも、一番の幸せであり、この幸福を一生わすれません。

ぼくは、この家族を一生の宝物にしようと、いつも思っています。そして、感謝をいつでもしています。

入選（5年生）

「いのち」

菅山小学校 5年1組

えんどう さな
遠藤 紗和

私達は、お父さんやお母さん、それよりも、もっと昔のご先祖様がこの世に生まれてきたから、この世に『一つのいのち』という形で生まれてきたんだと思います。

昔昔のご先祖様が『父と母』という形で出会って、それがくり返されて、お父さんとお母さんが、私達を生むことができたんだと、私は思います。

命は、昔からずーっとつながっているのです。もし、私達が、大人になってから結婚したら、私達の子孫が生まれて、命がつながっていくと思います。

私は、お父さんとお母さんに、「私を生んでくれてありがとう。一つの命として生んでくれてありがとう。」と感謝の気持ちを伝えたいです。

「いのち」

地頭方小学校 5年1組

きとう
佐藤 ありさ

男の人と女の人が結婚して、いつかは子どもが産まれる。その子どもも、いつかは結婚をして、子どもを産む。

そのくり返しで、今、このしゅん間、新しい命がきっと世界のどこかでできている。

きっと、私も、私の家族も、そうして産まれたらろう。

私は今、生きていれることを幸せに思っている。私は、このたった一度きりの人生で私を産んでくれたお父さんとお母さんに、「ありがとう。」

そして、またよろしくお願いします。」と、大人になったら伝えることができたらなと思う。

「親と感謝」

地頭方小学校 5年1組

そね こうき
曾根 凰生

ぼくのお母さん、お父さんは、優しいです。ぼくは、最近分かったことがあります。おこってくれるのも1つの優しさだと思います。

そして、ぼくには注意力がないというだめなところがあります。わすれ物をしたり、周りを見なくていろんなものをふんだりして、よくおこられていました。

最初は「いやだな」「なんでおこるんだろう」と思っていました。そんな事を思いながら、おこられていました。

でも、お母さんとお父さんという家族がいるからおこってくれると思いました。お母さんとお父さんは、ぼくのたまにおこってくれます。こういう親がいて、感謝しています。

ありがとうとしか思えません。

「お母さんとお父さん」

川崎小学校 5年1組

まつした さち
松下 紗智

私のお母さんとお父さんは働き者です。

お母さんは、朝早くに起きて、私たちを見送って、その後仕事へ行きます。帰ってから、休まず家事をしています。

お父さんは、朝早くから夜おそくまで仕事をしています。休日も仕事をしているので、あまり会えないです。

ある日、ニュースを見ていると、事このことが、ながれてきました。その時、お母さんが「もし、事ここにあったら、守るからね。」と言ってくれました。私は、うれしかったです。私も、お母さんのようにやさしくて、りっぱになりたいと思いました。

「お父さんもそうだよ。」と言ってくれました。私は、お母さんとお父さんの子に生まれてよかったです。

お母さん、生んでくれてありがとう。お父さん、大切にしてくれて、ありがとう。これからもよろしくね。

「感謝」

牧之原小学校 5年2組

ながた あおい
永田 蒼

じいちゃん、いつもお手本になってくれてありがとう。じいちゃんは、ぼくが辛い時に相談したら正しい事を教えてくれる。

じいちゃんは、仕事の事故で体の部品が色いろ半分ないよね。それでもポジティブにいられるのが本当にすごいと思った。

3年生のころさ「なんでそんなにポジティブなの。」ときいた時に「元気で人生を生きなきゃ人生そんしている。」って言ってくれた。

ありがとう。その言葉を言ってくれたから、今の自分があるんだと思う。

本当にありがとう。

「ぼくのおじいちゃん」

川崎小学校 5年1組

しばさき さとや
柴崎 聡治

ぼくには、とてもやさしいおじいちゃんがあります。ぼくが、おじいちゃんの家に行くたびに、おかしをくれたり、いっしょに遊んでくれたりします。そんな、おじいちゃんがぼくは、大好きです。

おじいちゃんも、ぼくのこと大好きだと思います。しかし、何年か前、のうの病気で入院してしまいました。ぼくは、よくおみまいに行っていました。はやく病気が治ってほしかったけど、なくなっていました。その時は、とても悲しかったです。でも、おじいちゃんは、ぼくのことを、いつまでも見守ってくれていると信じています。

フィリピン～日本

「5年間離れていたお父さんお母さんへ」

細江小学校 5年3組

ロドリゴ ケイトリン

優しく、愛情深く、楽しく、私を育ててくれたことにありがとうございます。今、私は、お父さん、お母さんと一緒に日本にいます。

5年間会えなかったけれど、今私は、電話ではなく、実際にあなたたちと過ごしています。私とお兄さんの為に、いつもそばにいてくれることに感謝します。二人は、家族・友だち・先生に対して愛をもって接することを教えてくれました。

お父さんお母さんが、一生懸命働いてくれなければ、私はここにいなかったでしょう。私にしてくれたことすべてに感謝します。私に大きな愛と喜びを与えてくれました。そして私は本当に、たとえ以前二人が遠く離れていたとしても、感謝します。

今はそばにいて、私の宿題や課題を助けてくれます。私は今日、お父さんお母さんといっしょに日本にいます。

日本の学校にいます。私がベストをつくせなかったら、ごめんなさい。でも、2人の為にかんばります。5年ぶりに会えました。私と兄のめんどろをみてくれてありがとうございます。いつも必死に働いてくれてありがとうございます。すべてにありがとうございます。大好きです。
(英文→日本語)

「いのち」

勝間田小学校 5年1組

さくらい りき
櫻井 里咲

私は、いままでのいのちは『心臓』だと思っていましたが、いのちについてよく考えてみたら、いのちは『時間』なのではないのかなと思いました。

なぜかというと、私はいのちは時間ともう一つ、いのちは『一生』でもあるんじゃないかなと思いました。

自分の時間は永遠につづくわけではないですし、自分の一生も永遠につづくわけではないです。この二つは、にているじゃないかと思いました。

なので、時間、一生、いのちを大事にしていきたいです。

「かんしゃのきもち」

細江小学校 5年3組

おだぎり みき
小田桐 美揮

わたしね、
いいたいことがあるの
おかあさん おとうさん
おばあちゃん おじいちゃん それとお
ともだちね
いやなかおされても うるさいっていわ
れても
どうしようもないくらい
ありがとうをいいたいんだ
だってね
たいせつにしてくれて あいしてくれて
あいしたくて たいせつにしたいひとだ
からだよ
ありがとう ありがとう ありがとう
まだたりないな

入選（6年生）

「おばあちゃんと犬」

菅山小学校 6年1組

はせがわ あすむ
長谷川 空澄

夕方5時、習字に行くため、車に乗って坂道をくだっていると、大きなまがりカーブの草むらの中に、おばあちゃんが立っているのが見え、辺りもうす暗くなっていたので、あぶないなと思いました。

しばらく進むと、道の真ん中に、真っ白い犬がすわっていました。さっきみたおばあちゃんと一緒によく散歩をしている犬でした。

すぐに迷子になってしまったんだと気づき、いそいで車を止め、犬をおばあちゃんの所までゆうどうしました。おばあちゃんは、ずっと犬を探していたようなので、見つかってうれしそうでした。

何度もお礼を言われ、ぼくもうれしくなりました。

「家族」

勝間田小学校 5年1組

おかむら けんたろう
岡村 健太郎

ぼくは、この家に生まれた。面白いお母さん、ちょっと怖いお姉ちゃん、変わってるお姉ちゃん、何でも教えてくれるお父さん。

これからも、ぼくは、この家族で生きていく毎日が楽しくてしょうがない。

ぼくは、この家族に生まれてきてよかった。

「いのち」

菅山小学校 6年1組

おおさわ かほ
大澤 香保

いのちは、一つしかありません。

なので、人を傷つけたり、SNSなどで誹謗中傷したり、いじめをしたりすることは、絶対にしてはいけません。

なぜかという、されてしまった人が自殺をしてしまうかもしれません。その家族は、悲しんだり、すごく辛い思いになったりします。相手がきらいな人でも、いいところは見つかります。

もし、人が辛そうにしているときは、そばに行って声をかけてみてください。

いのちを大切にしてください。

「 家族 」

萩間小学校 6年1組
なかしま こゆり
中嶋 胡百合

私たちは、家族に支えられています。

この前、家族みんなで弟の誕生日を祝いました。私は、家族の誕生日を祝うことは当たり前ではないと思います。

誕生日を祝うことだけではありません。毎日、毎日、家族のみんなで何気ない話をしたり、日常を過ごしたりすることも、当たり前のことではありません。

兄弟と喧嘩したり、一緒に遊んだりすることも、当たり前ではありません。

全部、家族がいるからできることです。何かの事情で家族がそろわなかったり、もともと家族がいない人は、「家族みんなでひとつのことをする」ことはできないのです。

弟の誕生日を、家族みんなで祝えることが、当たり前ではないんだと改めて気づかされました。

そして、家族の大切さを深く感じました。

「 人とのつながり 」

川崎小学校 6年2組
にしざわ いお
西澤 寿修

ぼくは、去年まで授業てきとうに受けていた。クラスの人にも迷惑をかけていて、どうしようもない時もあった、それでも友達は、ぼくを受けとめてくれて明るく接してくれた。先生は、怒るときもあるけれど、やさしく声をかけてくれる。

ぼくは、そんな学校が大好きだ。ありのままをさらけだせることは、とても幸せなことだと思う。

迷惑をかけづづけてしまうと思うけど、この学校に通えて本当によかったと思っている。

いつの日か、どんな形でもぼくに、関わってくれた人のために、おんがえしをしたい。

「 家族 」

牧之原小学校 6年1組
なわまき ゆな
縄巻 柚奈

私は、学校では、いつもの「じぶん」が出ません。でも、家に帰ったらいつもの「じぶん」が出せます。それは、家族のおかげだと思います。たとえば、学校で友達にほめられても、「ぜんぜんそんなことないよ」と返しますが、家では、「すごいでしょ!」「とうぜんでしょ」などで返します。

この言葉を友達にいつてしまうと、「うわっ…」など思われそうでこわいからです。だから私は、ありのままの「じぶん」を受け入れてくれる家族が大好きです。

「おばあちゃんへの感謝」

細江小学校 6年 2組

しんば しゅうま
榛葉 脩真

ぼくの、お母さんは、夜おそくに帰ってきます。だから、夜ご飯は、おばあちゃんが、いつも作ってくれます。

おばあちゃんは、農家の仕事があったり、おじいちゃんのお世話がったり、すごいそがしい時に、ぼくの、野球の練習や、ぼくが、買い物をする時も、ついてきてくれるので、いつもうれしい気持ちでいっぱいでした。

家事だけではなく、かさや忘れ物をした時に、くつ箱に置いて来てくれるので、すごく感謝していました。

お父さんも野球の事で、家にいない時がありました。お母さんが、おそくても、おばあちゃんという時間が幸せでした。

ぼくを、いつもやさしく支えてくれた、おばあちゃんに、恩返しできるように、これから、がんばりたいです。

「いのち」

細江小学校 6年 2組

よしぞえ ひな
吉添 日彩

私は、いのちより高価なものは、存在しないと思います。だから、家族や生きる支えとなってくれた人に感謝しています。

生まれてこれたこと、人生を楽しめていることが、とてもうれしいです。生まれてこれないと分からないことを、今までだけでも、たくさん学ぶことができました。

生きる喜び、死ぬ悲しみという言葉も学ぶことができました。

だから、これからも生きることを楽しみながら、家族や友達との関係を築いていきたいです。

楽しいことや、悲しいこともあると思うけど、がんばっていきたいです。

「家族」

細江小学校 6年 2組

いいだ ゆいと
飯田 結人

お母さん、ここまで一人で育ててくれてありがとう。お父さんがいないなか、家事を一人でこなしていて、苦勞がたくさんあったと思います。ぼくは、お父さんやおじいちゃんの記事が、あまりないから、お父さんに会ったらと考えることが多々あります。だけど、このお母さんとの生活で、イライラするときもあるけど、楽しいこともたくさんあります。でも、色々な場所に連れて行ってくれたり、色々なことを体験させてくれて、本当に感謝しています。

本当にありがとう。

「いのち」

勝間田小学校 6年 1組

きくらい のこ
櫻井 暖心

私は、学校の授業で、命についてを学びました。命とはなにかを考えてみると、まだわからないことがありました。

その中でも「命」という漢字にはなぜ「口」という字が含まれているのか疑問に思いました。調べてみると「命」という漢字には、「ひざまずいて神の意を聞く」という意味があるそうです。

私は、神様がさずけてくれた、大切な命を守るために神様の意志を聞く、そういう意味が込められた漢字なんだと思いました。

命を大切にしながら生きることで、大変な思いをして生んでくれた、お母さん達に感謝の気持ちを伝えられると思いました。

「私のお母さん」

坂部小学校 6年 1組

すずき ことね
鈴木 琴音

私には、ネフローゼという病気を持った兄がいます。だから、私が小さいころの両親は、いつもいそがしそうにしていました。

とくに、母は、いそがしそうで、いつも仕事か、入院した兄につきそって、一日中病院にいるかのどちらかでした。

自分が、体調のあまりすぐれない日でも、兄のために休んでしまっているからといって、休まず、私たちのために、がんばって働いてくれています。今でもそうです。

今私は、バレーボール、兄・妹は空手を習っていて、そのおくりむかえもしながら、仕事や家事をたくさんこなしてくれる母には感謝しかありません。

お母さんありがとう。

『いのちのつながり』小作文応募者

相良小学校

5年1組

青山 千代
大高 蒼翔
河村 美亜
北川 吉助
紅林 快都
紅林 がく
紅林 奈々
高知尾 吐空
寺島 健将
富田 昴琉
濱崎 想生
増田 瑠奈
松下 結朱
森田 二睦

5年2組

石川 百音奈
一木 日向
伊藤 妃菜
岩堀 湊
小笠原 ひで花
小畑 伯斗
篠崎 こう愛
高知尾 蒼空
高塚 隆誠
瀧谷 涼月
友田 遥斗
名波 華歩
名波 水都
仁藤 海隆
浜本 璃子
藤浦 佑之輔
藤野 愛理
増田 一花
松下 河緯
三浦 咲月
森田 紘貴
山下 なゆみ

ルミオ ジョデルマル

5年3組

植田 虎翔
大石 烈汰
小栗 蒼太郎
川原崎 陽葵
鈴木 佑弥
鈴木 玲里
富田 晃也
中島 彩喜
永野 双葉
名波 一翔
西 希々果
長谷川 にこ
原口 翔成
増田 羽菜
増田 湊斗
松田 蒼矢
森田 湖々乃
森田 有空
矢部 あおと
矢部 佑奈
山本 茉央
山本 惠唯
横山 晴彦

菅山小学校

5年1組

赤松 成瑠
伊藤 夢音
遠藤 紗和
紅林 依千里
鈴木 さゆり
田平 陽菜
田平 雄飛
戸塚 絆杏
富田 航平
中川 心耀
畑 千咲

松浦 妃杏
山崎 颯太
山本 鞘
渡邊 紗飛

6年1組

大澤 香保
小沢 向日葵
小田 絆名
紅林 耀斗
佐藤 優姫奈
清水 悠成
高塚 心実
高塚 琴弓
高塚 遥翔
瀧谷 奈央
田中 絵人
戸塚 琳太郎
中島 誉智
名波 晴
名波 柚香
西川 類菜
橋山 獅己
蓮池 心
長谷川 空澄
松本 逞雅
丸山 陣矢
茂木 ユウイチ
矢部 楓華
吉田 歩未
芳野 清人

菟間小学校

5年1組

渥美 宗熙
大石 楓
木村 茜
紅林 亮介
黒田 茉奈
源間 彩虹

柴田 朔治
杉田 歩美乃
鈴掛 絢菜
鈴木 あさひ
鈴木 直樹
坪池 絢香
戸塚 晴太
中嶋 一尋
長野 拓実
萩原 結菜
長谷川 櫻
藤野 陽生
増田 二葉
増田 裕奈
松浦 知采
松村 呼乃華
三浦 鼓太郎
八木 桃花

6年1組

石田 修一
大石 さくら
岡林 功明
川原崎 咲弥
絹村 翼咲
中嶋 愛桜
中嶋 胡百合
中田 琥舶
長野 心奈
長野 咲空
名波 樹希
長谷川 遥七
畠 美愛里
増田 羽希
増田 遥
松浦 寧々
森木 空
八木 希々花
若林 奏

地頭方小学校

5年1組

池田 創偉
植田 絢音
大窪 来知
樽林 怜莉
小塚 梨瑚
齋藤 凜花
佐藤 ありさ
清水 萌花
曾根 鳳生
たなか いお
寺田 紗也
永井 日和
中山 莉乃葉
西原 龍生
西村 柚珠
原口 颯斗
原口 未来
原口 大和
原口 莉子
平山 颯太
増田 蒼士
増田 小万里
増田 陸斗
増田 流惟
松浦 暖
松下 詢
本杉 旺奨
山崎 麗愛

6年1組

赤堀 陽紀
秋野 結愛
石津 彩
稲中 陽莉
植田 藍
植田 瑛音
植田 かんな
大橋 湊都

楠田 翔
小杉 琥珀
小塚 彩瑚
小塚 美空里
齋藤 葵
清水 大誠
鈴木 海信
田村 莉星
飛澤 文音
中山 按詩
中山 碧斗
西原 麻湼
原口 壮史
樋口 璃胡
増田 波珠
増田 美希
松村 桃子
矢島 杏菜
渡辺 莉叶

牧之原小学校

5年1組

植田 紘太
河原崎 英侍
榊 心優
鈴木 星菜
中島 快斗
中嶋 柊太
中西 泰雅
名波 陽愛
西村 拓也
藤瀬 勇吹
馬渕 佑都
向笠 朝陽
向笠 珠莉
村松 皇誠
矢口 華蓮
山内 香穂
吉國 友埜

吉田 悠真
良知 明莉
渡邊 悠真

5年2組

五野上 雷霸
塩崎 蓮菜
鈴木 詩乃
高柳 喜将
塚田 圭汰
永田 蒼
中田 快凜
仲田 蓮
永田 和
平岡 晃明
福水 瞬
藤原 陽斗
松下 心奏
松下 颯悟
村田 愛
森田 花寿紗
良知 蒼惟

6年1組

青嶋 春希
飯田 悠斗
泉地 豪基
片瀬 晴大
神谷 樂
黒田 彩花
黒田 悠真
小杉山 鳳生
鈴木 惺羅
鈴木 彪十
曾根 千鶴
高柳 蓮斗
谷下 瑛亮
中島 光揮
永田 虹來
名倉 奈津記
縄巻 柚奈

西村 麗愛
根上 來千
袴田 紗彩
原崎 百花
福島 妃音奈
藤村 達馬
増田 陽菜
三浦 咲人
村上 夏希
村松 陸
森田 悠里
和田 弥樹

川崎小学校

5年1組

池田 ことみ
伊藤 玄翔
大石 星奈
大石 吏海
大石 陵永
河内 千樹
北川 唯人
柴崎 聡治
柴本 紗那
中川 和々葉
永田 貴一
永田 聖菜
永田 悠
中西 小由妃
中西 莉愛
野澤 百那
平岡 成翔
福島 鈴愛
松浦 あいと
松坂 宗哉
松下 鳳真
松下 紗智
松本 星
マルコス ユウジ

村上 桃子
八木 心
5年2組
朝比奈 瑠汰
渥美 亮佑
池田 このみ
石川 蘭華
大井 健瑠
尾崎 悠馬
加茂川 絢斗
河内 董
桐田 咲穂
櫻井 凜
柴田 權
スギヤマ プラドリヤン
辻 心春
辻村 望々
南條 幹太
野村 來愛
萩原 裕晟
増田 花音
増田 千里
松本 衛
山田 源
山本 彩葉
山本 樂真
横山 莉優

6年2組
飯田 ひかり
池田 陽
石間 梨聖
枝木 聡賢
大石 安那
小野田 奈南
片瀬 充紀
木村 琉花
近藤 琉稀
佐藤 輝暖
園田 航右

高橋 渉
戸塚 琉生
西澤 寿修
野村 蒼空
増田 悠真

細江小学校

5年1組
池田 怜未
伊藤 淳人
宇佐美 優愛
大石 和空
大釜 琉夢
大澤 力輝
小島 緑恋
佐々木 晴人
菅ヶ谷 夢叶
鈴木 萌花
曾根 和花
高塚 利々
田中 柚気
羽田 和花
福田 理世
増田 るな
宮田 颯人
八木 愛茉理

5年2組
伊藤 瑛麻
大石 参次
大石 康翔
岡本 貴月
柿崎 大樹
ガスパリニ ユナ
糟谷 咲太
カトイ アリア
加藤 亮太
かばて めぐみ
木村 果乃
小原 琉生

シルバ 幸絵
鈴木 柚葵
竹内 芽羽
田代 富久
長野 壮馬
永脇 聖奈
羽田 瑛人
前田 琉亜
本杉 碧惟
八木 優衣
山口 侑斗
山村 向葵

5年3組
池田 来夢
上野 ジョン
大石 彩華
岡崎 生知
小田桐 美揮
川瀬 大希
糸田 莉海
郷野 寧々
小堀 結菜
杉山 愛美
鈴木 夢結
田京 睦樹
千葉 心咲
西井 心美
羽田 涼

6年1組
石井 カウエ
福田 愛斗
藤田 琉海
藤林 ラディカ
増田 絢斗
増田 咲愛
増田 哲平
松瀬 光
八木 暁平
ロドリゴケイトリン

石澤 悠翔
石橋 壮太
板倉 心優
カーマン まいわ
加藤 愛里
加藤 樹
川嶋 愛菜
河守 環作
岸本 未夢
小出 萌翔
佐藤 清斗
柴 祐名
鈴木 ひかり
田嶋 叶空
田中 結奈
田邊 璃帆
原崎 かずえ
藤井 大仁
藤田 真輝
増田 蒼司
増田 壮真
増田 羽華
松本 真菜果
山田 ユアン
山本 匠真
油井 琉隱
吉中 康晟

6年2組
浅賀 彩音
飯田 結人
大井 陽和太
奥山 さくら
加藤 詩悠
川畑 壮騎
木村 昊翔
金原 悠煌
小林 美翔
齋藤 宇
櫻井 ひより

櫻井 星奈
澤田 心桜
榛葉 脩真
杉本 華蓮
杉山 千晶
鈴木 美来
須藤 こむぎ
竹内 愛結
橋山 煌平
畑 翔太郎
堀内 創生
増田 季良
森 悠河
山村 風喜
山村 琉季
山本 りん
吉川 知那
吉添 日彩
渡辺 ケン

勝間田小学校

5年1組

飯田 和翔
飯塚 翔埜
泉地 来希
大石 陽南
岡村 健太郎
木下 心那
櫻井 里咲
杉村 萌依
杉本 季樹
鈴木 颯悟
寺尾 紗羽
戸つかりょう成
中島 優斗
成川 緒美
西下 あいり
舛谷 野乃佳
村松 かや

村松 みおむ
本杉 さん
山下 雛
山本 晃雅

6年1組

浅野 志旺
泉地 ヒマリ
植田 貴帆
枝村 莉伊奈
太田 星
大塚 麻衣
川瀬 葵奈
小西 大輝
櫻井 綾心
櫻井 暖心
四ノ宮 千聡
鈴木 琴音
鈴木 里埜
田中 あおい
服部 太郎
村松 奏実
村松 咲和
本杉 碧
本杉 咲月
山本 壱咲

坂部小学校

6年1組

石神 那由多
板倉 桜葉
岩本 翔
大石 ゆい
大石 陸也
大関 遼哉
神崎 芽衣
小原 大河
齊藤 茉桜
櫻井 世奈
鈴木 琴音

関 ひかり
寺田 陽菜
羽柴 秀昭
畠山 怜隱
福代 成琉
福代 湊大
水嶋 晴翔
水嶋 理人
南谷 亜胡
村田 綺心
村田 謙心
吉添 太惺
良知 亜美
良知 杏音

小作文応募数			
学校名	5年	6年	合計
相良小学校	60		60
菅山小学校	15	25	40
萩間小学校	24	19	43
地頭方小学校	28	27	55
牧之原小学校	37	29	66
川崎小学校	50	16	66
細江小学校	66	58	124
勝間田小学校	21	20	41
坂部小学校		25	25
合計	301	219	520

たくさんのご応募、大変ありがとうございました。

モラロジー教育では「3つの心」を育てます

感謝の心

大自然の恵み、また家庭や国の恩恵などに対する感謝の心は、自分の命はもちろん、あらゆる命を大切にする尊厳性をはぐくみます。そして恩返しをしたり社会や世界に貢献していく勇気を育てます。

おもいやりの心

相手の立場に立って考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感性をはぐくみます。そして自分を反省したり、相手を許す謙虚さや周囲に奉仕する深いやさしさを育てます。

自立の心

夢や志に向かって、主体性を持って生きようとする自立の心は、家庭人、社会人、また国民としての責任感や使命感をはぐくみます。そして地域や国際社会に目を向けていくたくましさを育てます。

●モラロジーとは●

モラロジー(Morality)は、「道徳」を表す(moral)と「学」を表すロジー(logy)からなる学問名です。日本はもとより世界の倫理道徳の研究をはじめ、人間、社会、自然のあらゆる領域を考察し、人間がよりよく生きるための指針を探求し提示することを目的とした総合人間学です。

モラロジーでは、一人ひとりの幸せと心豊かな社会の実現には、人間の品性を高める質の良い道徳の実行が必要と考えています。一般に、道徳は「人間の行為の範囲」と理解されているように、行いや形式面が強調されがちです。モラロジーでは、行いはもちろんですが、それ以上に行いのもととなる心のあり方(こころづかい・考え方)を重視しています。

第12回「いのちのつながり」小作文作品集

発行日 令和5年3月

発行 小笠原モラロジー事務所

〒439-0034 菊川市下内田 1314-1

TEL(0537)35-6690

URL: <https://www.ogasa-haibara-mc.jp/>

E-mail: morality12658@gmail.com